

平成29年度事業と 収入支出予算

一般
勘定

38億7,596万円

介護
勘定

3億2,340万円

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の平成29年度事業と収入支出予算（一般・介護）が去る2月27日（月）開催された第78回組合会において、審議決定されました。

経済状況も穏やかな回復基調が続いているなか、当健保組合の保険料収入は若干の伸びがみられるものの、高齢者への納付金・支援金等の高負担に加え、医療費が大きく増加していることから、不足分を積立金から繰り入れ、平成29年度の保険料率（一般）を9.8%に据え置くこととなりました。

この保険料収入の基礎となる年間被保険者数は8,860人、平均標準報酬月額が316,122円、賞与は平均1.93ヶ月で年間保険料は収入全体の97.0%となります。

主な支出では、皆さんが病院等にかかった時に支払われる医療費や出産育児一時金、傷病手当金等の保険給付費として18億9,756万円を計上、支出全体の48.9%となっており、高齢者医療制度に係る後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等は、16億1,221万円で実に41.6%を占めております。

疾病予防を中心とした保健事業費には、1億8,512万円を計上し、特定健診を含む人間ドックや生活習慣病予防健診、その後の特定保健指導の他、乳がん・子宮がん検診、VDT検診、インフルエンザ予防接種等の補助を実施します。

介護勘定につきましては、当健保組合が国に納付する介護給付費が3億2,325万円となることから、平成29年度の介護保険料率は0.04%引き上げ1.58%といたしました。

第78回組合会

・開催日 平成29年2月27日（月）10時30分～

・出席議員 17名

・開催場所 JRタワーホテル日航札幌 36階「つき」

・関係者 2名

審議事項

①平成28年度追加更正予算について

④平成29年度支出予算同一款内の項間の流用について

②平成29年度介護保険料率（案）について

⑤理事長専決事項について

③平成29年度事業及び収入支出予算（案）について

⑥成人病等健診補助金規程の変更について

●議案1から6まで原案どおり承認されました。

